



この地域は、成田市^{のりめん}の東部に位置する栗山川の流域を含んでいます。ほとんどが畑地として利用されており、一部に水田が見られます。また、道路沿いの法面には草

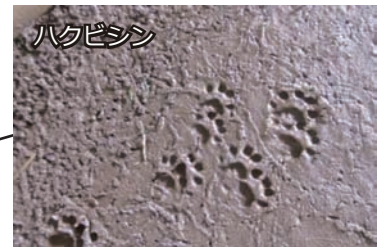
地が形成されています。畑地周辺には、畑地雑草群落^{のりめん}が広がっています。わずかに見られる水田の周辺には、休耕田に由来する湿

くりやまがわりゅういき
22. 栗山川流域

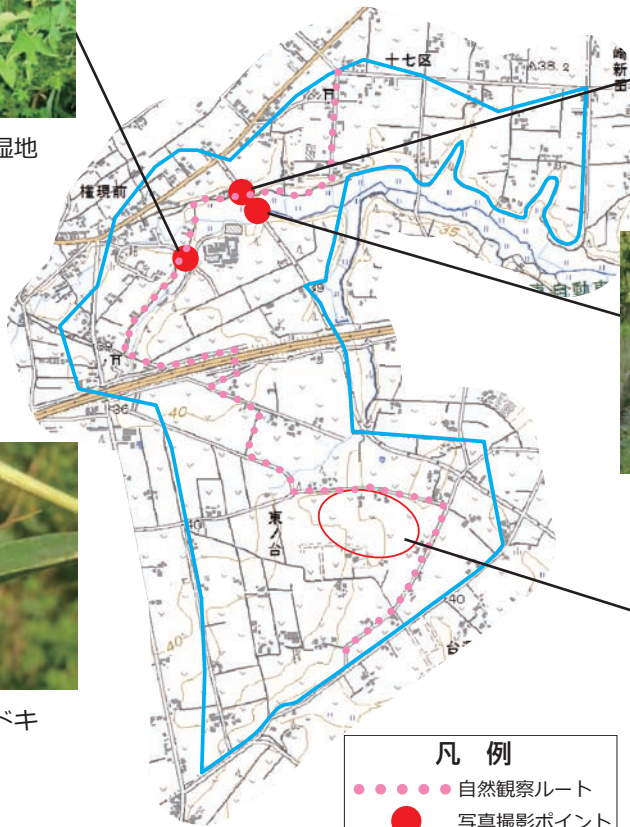
地があります。ここではセリやガマなどが生育し、ニホンアカガエル、ニホンアマガエル、シュレーゲルアオガエルなどのカエルの仲間が多く見られます。また、草地にはショウリョウバッタモドキをはじめとするバッタの仲間が多く見られます。民家や畑地の周辺で、ホオジロの仲間やスズメ、ムクドリなど、草地を餌場などに利用する鳥類が多く見られます。畑地周辺の草地では、モグラ塚やハクビシンなどの足跡も見ることができます。



ガマなどが生えている湿地



ほ乳類の足跡がよく見られる



草地にはバッタの仲間が多い



イナゴの幼虫



ショウリョウバッタモドキ



畑地が広がっている

凡例

- 自然観察ルート
- 写真撮影ポイント

この地図は、国土地理院の電子地図25000『成田空港』、『佐原西部』を使用したものである。

第3次調査確認種数

種別	確認種数
植物	290種
ほ乳類	4種
鳥類	30種
両生類・は虫類	8種
昆虫類	195種
底生生物・魚類	5種

第1次調査、第2次調査は、実施していない。



ホオジロ